



発行者 楽しい株式会社
住所 北九州市若松区向洋町10番1
北九州エコタウン実証研究エリア内
Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

ハチドリ通心(信)
2008年11月号

「ハチドリのひとしずく」いま、私にできること

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。
森が燃えていました。
森の生き物たちは、われ先にと逃げて行きました。
でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったり来たりくちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑っています。クリキンディはこう答えました「私にできることをしているだけ」

「バイオマス」？ お聞きになったことはありませんか。

「バイオマス」は動植物から生まれた再生可能な有機資源です。

政府は「バイオマス」の利活用に積極的に取り組んでいます。

平成14年12月、政府は「バイオマス・ニッポン総合戦略」を策定し国家プロジェクトとしての取り組みを開始。平成18年3月にはバイオマスタウン構築の加速化等を図る為の施策を推進しています。

ご存知ですか「カーボンニュートラル」？

「バイオマス」の炭素は、もともと大気中のCO₂を植物が光合成により固定したものですから、燃焼等によりCO₂が発生しても、実質的に大気中のCO₂を増加させません。これを「カーボンニュートラル」と言います。持続可能な循環型社会形成に重要な要素です。非循環型の化石資源とは大きく違います。

「バイオマス」の利活用のメリット。

次の4つが挙げられています。①地球温暖化の防止、②循環型社会の形成、③戦略的産業の育成、④農山漁村の活性化。

地球温暖化を回避するために、石油などの化石資源から、生育過程でCO₂を吸収するバイオマスを利用することで、温暖化を防ぐことができます。バイオマスは再生可能な資源です。

政府は利活用拡大に積極的な支援を行なっています。

「バイオマス」の発生量と利活用の程度は？

「バイオマス」は、廃棄物系バイオマス・未利用バイオマス・資源作物に分類されます。廃棄物系バイオマスの代表は、家畜排泄物(年間発生量約8,700万トン、約10%が未利用)、食品廃棄物(年間発生量約2,000万トン、約80%が未利用)など。未利用バイオマスの代表は、農作物非食部(年間発生量約1,400万トン、約70%が未利用)や、林地残材(年間発生量約340万トン、ほとんど利用されず。)

「バイオマスタウン」とは？

域内多種多様なバイオマスを、幅広い連携の下に、安定的に、かつ適正に利活用され、または今後されようとしている地域です。

政府は、平成22年で300市町村を目標に、バイオマスタウン推進を図っており、バイオマスタウンに取組む市町村に対して、計画的な施設整備を進めるにあたり、「地域バイオマス利活用交付金」などの支援を行なっています。

すでに153市町村がバイオマスタウン構想を公表されています。

(引用資料・文献：社団法人日本有機資源協会企画制作

「バイオマス・ニッポン」「バイオマスタウンに！」より)

「メリーズシステム」とバイオマス。

メリーズシステムは食品廃棄物バイオマスの利活用手段としてや、使用済み竹割り箸の再利用など、経済メリットの高いシステムの代表格として評価されています。

すでにメリーズシステムにご参加の方々も、これから参加をお考えの方々も、ご一緒により広い連携の下で、地域バイオマスの利活用に取組みませんか？

「バイオマスタウン」に関する情報は次のWebサイトでご覧下さい。

バイオマス情報ヘッドクォーター <http://www.biomass-hq.jp>

農林水産省バイオマス・ニッポン <http://www.maff.go.jp/j/biomass/>

社団法人日本有機資源協会 <http://www.jora.jp/>

新しいハチドリをご紹介します。



「みやこみち」京都駅近鉄名店街商店街振興組合です。

近鉄京都駅・JR新幹線京都駅中央口からが便利です。

同近名街は環境リサイクル取り組み10年余、今秋のリニューアルオープン時、フォースターズをご採用頂きました。

21店舗の飲食店から、毎日排出された食品残渣約800kgは、2台のフォースターズが分解、6カ月後に取出された一次発酵済みの発酵床は堆肥原料として鞍馬山の麓にある福祉施設に運ばれ、約4ヶ月後には土壌改良材になり、地元

野菜の栽培に役立てられます。
京都市内で実行される「地域循環の環境リサイクル」です。



滋賀県多賀町の多賀小学校です。

環境教育に地元有機野菜グループと一緒に取り組んでいます。



みなさまの環境への思いと行動が、高く評価されました。

「ふくおか減CO₂自慢大作戦2008」にて、楽しい㈱が最優秀賞(県代表)に選ばれました。

本コンテストは、環境省が主催し、各都道府県の地球温暖化防止活動推進センターが、地域で地球温暖化防止に取り組む住民、団体、企業、行政などの取り組みを公募したものです。

福岡県では30件の応募があり、書類審査とプレゼンテーションによる選考の結果、楽しい㈱が選ばれました。メリーズシステムご参加の皆様方の、ひとつひとつの思いと行動が高く評価されたものです。

本当にありがとうございました。

次の展示会に出品します。お待ち申し上げます。

びわ湖環境ビジネスメッセ2008

2008年11月5日(水)から11月7日(金)まで
主催：滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会
場所：滋賀県立長浜ドーム(JR田村駅・歩5分)
エコアドバンスの小間にパネル出品。

エコプロダクツ2008

2008年12月11日(木)から12月13日(土)まで
主催：(社)産業環境管理協会・日本経済新聞社
場所：東京ビッグサイト
楽しい㈱・㈱メリーズ・ジャパンの小間に出品。

ビジネスフェア2009

2009年1月20日(火)から1月22日(木)まで
主催：日本ショッピングセンター協会
場所：インテックス大阪(大阪・南港)
経済産業省・三菱総研のグリーン・サービサイジング
実証事業コーナーに出品。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。
URL : www.fun-c.jp/をご覧ください。(高原が担当しました。)